

2024年8月19日

各位

会社名 データセクション株式会社
代表者名 代表取締役社長CEO 石原紀彦
(コード番号: 3905 東証グロース)
問い合わせ先 代表取締役副社長CFO兼COO 岩田真一
TEL. 050-3649-4858

AI データセンター構築に向けた Collaboration and Joint Working Agreement締結のお知らせ

当社は、本日、Solaria Energia y Medio Ambiente SA（本社：スペイン、マドリード州 CEO：Arturo Diaz-Tejeiro、以下「Solaria 社」といいます。）との間で、AI データセンター構築に向けた Collaboration and Joint Working Agreement（以下「本合意」といいます。）を締結することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

本合意に基づき、両社は、Solaria 社の工場跡地に AI データセンターを構築（以下「本プロジェクト」といいます。）し、早期に稼働を開始することを目指します。

記

1. 本プロジェクト及び本合意の目的・背景

当社は、2024年6月3日付「AI データセンター構築に向けた4社間基本合意のお知らせ」にて開示のとおり、AI データセンター等の新規事業の事業化や、既存事業における事業ポートフォリオの再構築を進行しており、2024年3月期の財務リストラを経て、スピード感をもった成長フェーズへの舵切りを図っております。

新戦略として掲げている AI データセンターの運営及び AI クラウドサービスの推進、あるいは「AI Infrastructure Global Investment Fund」の取組については、8月7日付「子会社設立に関するお知らせ」及び「DS AI Infrastructure Global Investment Fund（仮称）設立のお知らせ」、並びに2024年8月14日付「通期連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」にて開示の通り、堅調に進捗しております。

AI を取り巻く技術が加速度的に進化しているなか、グローバル市場においては、急増する AI 処理に対応できる AI データセンターの構築が強く求められております。また、地政学的リスクが高まるなか、AI を始めるとする最先端技術が安全保障上の課題解決として重要視されており、民間企業のみならず、政府機関、国際機関においても防衛予算のうち AI 関連の予算を増加させる傾向にあります。大規模な AI 計算基盤を持つ AI データセンターを構築するには、最先端の演算装置の調達、設備の発熱を抑える高効率な冷却システムの整備、大規模な電力・場所の確保といった点が重要となるため、当社は Solaria 社との連携により、両社ならびに両社のパートナー企業のアセットを集結し、これらの課題に素早く対応し、本プロジェクトを推進してまいります。

2. 本合意の内容

Solaria 社は、2002 年に設立され 2007 年にマドリード証券取引所に上場しています。欧州における最大手のグリーンエネルギー発電会社の一つであり、スペイン、ポルトガル、ドイツ、イタリア、ギリシャ及びウルグアイの 6 カ国において、合計で 3 ギガワットを超える太陽光発電所を運営（稼働中または建設中含む）しております。また、風力発電とバッテリーも活用することで電力供給の最適化を行い、現在 18 ギガワットを超えるプロジェクトを推進中です。そのうち 5.6 ギガワットのリニューアブルエナジープロジェクトに対し、2023 年に European Investment Bank より 18 億ドルの融資を確保しております。

また、Solaria 社は、864 km の高圧及び中電圧線、合計 55 カ所の太陽光発電所、および 97 カ所の変電所を有しておりますが、それらの電力インフラ設備を活用し、データセンター部門を新設のうえ、スペイン・カスティーリャ・ラ・マンチャ州シウダー・レアル県プエルトリャノにある同社の太陽電池セルとモジュール工場を AI データセンターに転換するプロジェクトを進めておりますが、本合意に基づき、プエルトリャノにある同社の自社設備を段階的に 100,000 m²を目途として、本プロジェクトの用地として使用する予定であるほか、200 メガワット以上の電力を本プロジェクト用に提供する予定です。

当社は、NVIDIA の先端 GPU を含む AI サーバーを当社の提携先である Supermicro から本プロジェクト向けに調達するほか、AI データセンターの運営体制の整備、AI クラウドサービスの構築・運用を担当いたします。（なお、調達及び構築・運用に要する費用が未定であるため、現在精査中であり、詳細が分かり次第、速やかに開示いたします。）また、今回構築する AI データセンターにおいては、AI 業界でのアップストリーム及びダウンストリームの当社のグローバルなパートナーシップネットワークを活用して必要なリソースを確保いたします。今後につきましても、Solaria 社と当社は、本合意を通じ、欧州の他の地域においても、最先端の AI データセンターの建設と運用を進めてまいります。

3. 本合意の相手先（Solaria 社）の概要

(1) 名称	Solaria Energía y Medio Ambiente, S.A.	
(2) 所在地	C/ Princesa, 2 - 4 Planta MADRID, MAD 28008 Spain	
(3) 代表者の役職・氏名	President & Chairman Enrique Díaz-Tejeiro Gutiérrez	
(4) 事業内容	・太陽光、熱、風力およびその他の再生可能エネルギー施設の設置及び運用	
(5) 資本金	125万ユーロ	
(6) 設立年月日	2002年11月27日	
(7) 大株主及び持株比率	DTL Corporación, S.L. 34.91%	
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者へ	該当事項はありません。

	の該当状況		
(9) 当該会社の最近3期間における連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
純資産 (単位:百万ユーロ)	247	344	524
総資産 (単位:百万ユーロ)	1,042	1,426	1,648
1株当たり純資産 (単位:ユーロ)	1.97	2.75	4.19
売上高 (単位:百万ユーロ)	95	139	191
経常利益 (△は損失、単位:百万ユーロ)	56	101	135
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は損失、単位:百万ユーロ)	48	90	107
包括利益 (△は損失、単位:百万ユーロ)	24	95	179
1株当たり当期純利益 (△は損失、単位:ユーロ)	0.38	0.72	0.86

4. 今後の見通し

本業務提携が、当社グループの2025年3月期の連結業績に与える影響については精査中ではありますが、中長期的には当社グループの企業価値の向上に資するものと考えております
 なお、今後公表すべき事項が発生した場合は速やかに開示いたします。

以上